

子ども会活動のしおり

Vol(volume) 4 「推進編」

子ども会活動をより良い
ものにするために



目次

- ・仲間と共に子どもたち自身の手で1p
- ・子ども会と育成会とは2p
- ・子どもに託す3p
- ・大きな心で、待てる大人に.....4p
- ・お互いの違いを認め共に生きる5p
- ・子どもでも、大人でも.....6p

仲間と共に

子どもたち自身の手で

地域によっては、子どもたちだけで組織する子ども会が減少していますが、できるだけ子どもたちが自ら考え、行動できる機会を与えましょう。

子どもたちだけで

- ・何がしたいのか？
- ・どうしたらそれができるのか？
- ・自分たちだけではできないところは？
- ・誰にどれだけ手伝ってもらおう？
- ・自分たちで役割分担

などをみんなで検討することで、大人から与えられるだけではない行事にすることができます。

子どもたちの自発的な活動は大切ですが必ず育成者指導者が付き添い安全な活動を見守りましょう。

子ども会と育成会とは

昭和40年ごろから、子どもたちだけで話し合い、やりたい事を決めて行事を行っていく「子どもの手による子ども会」を目標にして各地域でこの活動が展開されました。

それを側面から見守りサポートするための組織として保護者が中心となり育成会が結成されたのです。

時代の流れと共に本来の子ども会活動は形を変えて、育成会が主体となって活動が続けている所が多くなりました。子どもたちの生活も大きく様変わりし子ども会活動を安全、かつ活発に進めるためには地域の方々の協力が必要不可欠です。本来の目標であった「子どもの手による子ども会活動」を子どもたちが感じることができるよう、会員みんなで知恵を出し合い 楽しい活動にしましょう。

育成者も与えるだけの子ども会活動にならないよう子ども、育成者共に役割を分担しながら活動を進められるよう心掛けましょう。

子どもに託す

年代を問わず活動を円滑に進めるためには、よく話し合うことが必要です。しっかりした話し合いの中で子どもが自分でしたいこと、すべきことを理解して活動を進めることで、仲間とともに成長することができます。子どもたちの意見は大事にしていると言いながら育成者の考え方が中心の子ども会活動になりがちです。やはり子どもたちの主体性を重視した活動を展開したいものです。

思い返してみれば誰でも少年少女時代に、とても大きな課題に挑戦し押しつぶされそうになりながら頑張ってやり遂げられ、満足感を抱いたり、そうではなく悔しい思いをしたりしたことが思い出となっていることがいくつもあるはずです。

そんな時優しく見守り、ほめてくれたり、慰めてくれたりする大人がいてくれたおかげで、今の私たちはいるのです。今度は私たちが子どもたちを信じ、託して、私たちがしてもらったように子どもたちを見守っていきましょう。

大きな心で、待てる大人に

子ども会活動を通じて、命の大切さを理解できる子ども、自分で考え判断できる子ども、意欲的・創造的で思いやりのある子どもに育てましょう。バーチャルリアリティ（仮想現実）のあふれた現代社会の生活環境の中で育っている子どもたちの中には、自分を過信し現実とのギャップに戸惑う子どももいます。自分が「できる」と思っていたことができずに戸惑っている子どもを、^せ急かしたり中傷したりせず、焦らせず最後までやり抜くことを見守り、待てる育成者、指導者になりましょう。困難を仲間とともに乗り越え、自分の役割を達成できて、自らの成長を感じることができれば、仲間を信頼することができ、周りの大人の優しさに気付くことができるようになります。

お互いの違いを認め共に生きる

★私たちは、日常生活において誰もが得意な事や不得意な事に直面します。そのなかで、お互いに違いを認め、補い助け合いながら社会生活が繰り広げられています。

適切な支援が必要な子

★家庭・学校・地域で育つ子どもにも、日常生活で様々な理由でつまずいたり、生きにくさを感じたりするため、周囲から適切な支援が必要な子どもたちがいます。

★私たちは、どの子どもたちも社会を構成する一員として尊重し、自立と社会参加をめざし、明るい未来と幸せを実現させるために努めなくてはなりません。

共に生きていこう

★子ども会は、学校以外の場で地域すべての子どもたちや保護者等が分け隔てなく共に活動することで、子どもたちが社会生活に必要な大切なことを学ぶ貴重な体験の場となります。

★互いに違いや共通点を理解し、手を取りあって共に生きることにより「共生社会」が作られていくものと思います。

子どもでも、大人でも

多くの人が集まれば、必ずその中にリーダーが必要になってきます。

子ども会活動を行っていくために必要な
リーダーとしての心構えを

1. 自分のことは自分です。
2. 人からされて嫌だと感じたことを人にはしない。
3. 人からしてもらってうれしかったことは他人にもしてあげる。

としたらそれほど難しいことではないでしょう。

**皆ができることを目標にすれば、みんなが
リーダーになれるのです。**